

総合計画(中期)策定に向け、平成30年3月に18歳以上の市民から無作為に抽選された2,000人にアンケート調査を行い、630人の方から回答をいただきました。その際いただいた意見や質問、提言などについて、毎月テーマごとに、市としての方針や考え方などをお知らせします。



今月のテーマ

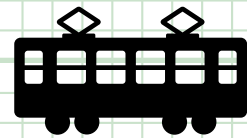
公共交通について

◆公共交通に関する問い合わせ
企画課企画調整係
☎01654③2111(内線3312)

いただいた意見、
質問、提言など

「冬の鉄道の状況は特にひどく、公共交通機関の確保は課題なのではないか」
「通学等の交通機関(バス)が不便」
「このまちのことを少しでも知ろうと市内循環バスに乗りしてみました、改善の余地がありそうです」 など

回答



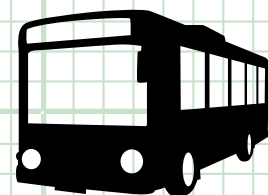
市の公共交通機関は、鉄道は南北にJR宗谷本線が走り、市内循環や地域間を結ぶ12系統のバス路線が市内や周辺自治体間の移動手段として市中心部から放射状に配置されています。

最近では、大雨や猛吹雪など激しい気象の変化により、JR北海道では遅延や運休が多発しているほか、シカやクマなど野生動物の線路内侵入や接触による事故が多発している事について、安全安心と公共交通としての定時性の確保をJR北海道へ求めています。とりわけ、ここ数年における冬季間の運休は非常に多いことから、冬に負けない公共交通機関の確保に向けて、さまざまな機会において働きかけを行っています。

身近な交通手段のひとつである市内循環バスでは、コミュニティバス(東西まわり・西まわり)や徳田線(イオンバス)があります。生活の拠点となる病院や商業施設、学校のほか、市役所など主要な公共施設を結ぶバス路線となっていますが、郊外に位置する名寄高校はバス路線から少し離れており、冬季間は通学が大変であるため、冬季間のみ、名士バス本社前から名寄駅前を經由して名寄高校までバスが運行されています。

高齢化社会に対応していくため、コミュニティバスでは平成24年度から平成27年度まで運行の見直しをすすめ、ワンステップ(低床)バス車両の導入、バスの色や停留所もわかりやすくするなどの見直しが行われています。

今後は子どもや高齢者など交通弱者への配慮や路線バス利用者の減少など、地域の実情を考慮した効率的な公共交通体系を整備していくため、市民や関係行政機関、旅客運送事業者などにより構成される名寄市地域公共交通活性化協議会の中で検討をすすめていきます。



▶次回のテーマ(予定) 子育て施策について